

セグメント別成長戦略

光学・システムセグメント



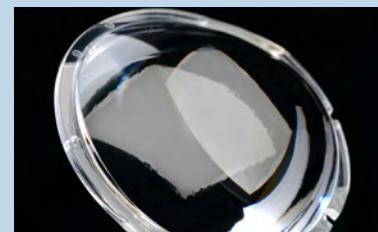
事業本部長
太田 博之

光学部品、電鍍・精密部品、半導体関連組込みシステム、金型・合成樹脂成形品、ICカード、プロジェクター、映像機器などの製造販売を行っています。

ビジョン	アナログコア技術を磨きモノからコトへ、 光とシステムコンポーネンツ製品 で暮らしと社会に貢献する
事業戦略	プロジェクターから車載・半導体事業分野へ変革／成長

製品一覧

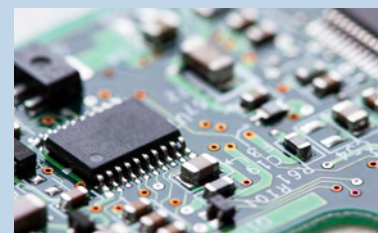
分類	主要製品
光学部品	車載カメラ用レンズユニット
	LEDヘッドランプレンズ
	単レンズ他(スマートフォン用レンズ、カメラレンズ用鏡筒など)
金型・合成樹脂成形品	超精密金型
	合成樹脂成形品
電子機器部品	半導体関連組込みシステム
	画像認識システム
	電子機器組立事業
プロジェクター	プロジェクター
精密電鍍製品	有機EL用蒸着マスク(電鍍製)、ICパッケージ接続用マスク、電子部品用精密電鍍金型・転写リード
ICカード	非接触ICカード、ICカードリーダー・ライター



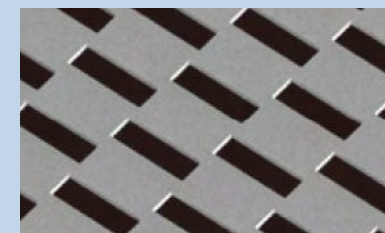
LEDヘッドランプレンズ

車載カメラ用レンズユニット
(ビューイング用)

レンズ金型

非接触ICカード、
ICカードリーダー・ライター

半導体関連組込みシステム



有機EL用蒸着マスク (電鍍製)

セグメント別成長戦略

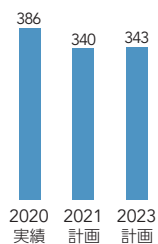
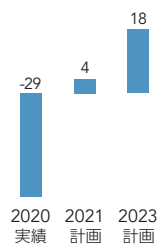
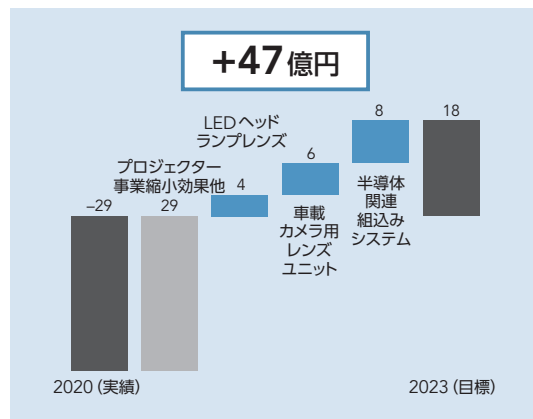


5G/IoT



モビリティ

光学・システムセグメント

売上高
(億円)営業利益
(億円)営業利益偏差(2020→2023年度)
(億円)

2020年度の状況

半導体市場の回復傾向により、半導体関連組み込みシステムなどが増収となりました。また、自動車市場向け光学部品は自動車市場の回復基調を受け第3四半期以降は復調の兆しが見えたもののプロジェクターが減収となり、光学・システムセグメント全体の売上高は386億円となりました。

営業損益は、半導体関連組み込みシステムや精密電鍍製品で増益となったものの、自動車市場向け光学部品などが減益となりプロジェクターなどの固定費削減を図りましたが29億円の損失となりました。

MEX23をけん引する成長事業

成長事業	市場ポジション	強み	今後の展開
 LEDヘッドランプレンズ	「世界トップシェア維持*1」 ●自動車用ヘッドランプのLED化が進み市場は拡大	<ul style="list-style-type: none"> 自由曲面光学設計・高精度成形技術を活用し、ADB*2などヘッドランプの進化や多様化するデザインに対応 ライトガイドなどヘッドランプ周辺部品の対応力 	<ul style="list-style-type: none"> レンズ単体ビジネスから高付加価値のユニットビジネスへの参入検討 中国・ASEAN・インド市場での拡販 多数個取り、成形のハイサイクル化によるコスト対応
 車載カメラ用レンズユニット	「高精度プラスチックレンズで主力メーカーとしての市場ポジションを継続確保」 ●センシング・ビュー用ともに市場は拡大。主力メーカーとしての地位を継続確保 ●センシング用の需要拡大に伴い、高精度化の要求が増加	<ul style="list-style-type: none"> 光学設計・高精度成形技術を活用し、非球面ガラス・プラスチックレンズを組み合わせたハイブリッドレンズユニットで高精度、高耐久性、低コストを実現 	<ul style="list-style-type: none"> 高精度プラスチックレンズによるさらなる高解像度化 セキュリティ用など車載用途以外のカメラ市場への展開
 半導体関連組み込みシステム	「半導体製造装置メーカーとのさらなる関係強化」 ●モバイル機器の高容量化・普及拡大、データセンターの拡充などにより半導体市場は拡大。これに伴い半導体製造装置の部品である組み込みシステムの需要も増加 ●主要顧客である半導体製造装置メーカーにおけるトップシェアを維持	<ul style="list-style-type: none"> 半導体製造装置メーカーの要求仕様に合わせ、設計開発から生産組立までの一貫対応 国内複数製造拠点も活用し、顧客要求に沿った多品種生産・高品質製品供給などに柔軟に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代製造装置開発案件の早期獲得、長期継続受注 原価低減、リードタイム短縮

*1 世界トップシェア:2021年9月現在。マクセル調べ

*2 ADB:配光可変ヘッドランプ